



おもちゃ図書館でボランティアの門沢さん(左端)「子どもが小さい頃、私もここでお世話になりました。部屋の管理やおもちゃの修理もボランティアの役目。提供していただいたおもちゃは大切に使っています」

県政特集 NPO支援

NPO、企業、行政が それぞれの役割を發揮

県では、今年三月、「とちぎの協働事例集」を作成しました。これは福祉や教育、環境保全、国際協力などさまざまな分野で、いきいきと活動するNPO・ボランティアとの協働事例を取り上げたものです。

その中のひとつ、栃木市にある「おもちゃ図書館」は、気軽に親子で訪れることができ、子育てサロン。おもちゃを使った高齢者や障害のある方との交流会やおもちゃの貸し出しなども行っています。運営している「NPO法人蔵の街たんぼの会」代表の石河さんに話をうかがいました。

「このおもちゃ図書館は、栃木市から場所を無償で借り、おもちゃはおもちゃメーカーから提供していただいています。その代わり、私たちNPOは、市の親子交流事業を行ったり、おもちゃメーカーにモニターとして新商品についての意見を言ったりしています。それぞれが役割を



交流活動を広げて

昨年十一月にオープンしたとちぎボランティアNPOセンター(愛称「ぼ・ぼ・ら」)。ここでは、社会貢献活動に関するさまざまな相談に応じたり、交流や情報交換が自由に行える場を提供したりするほか、各種講座やフォーラム、相談

發揮し、この事業が成り立っているのではないでしようか」と話します。

また、「この運営には、NPO法人の他にも複数のボランティアグループが関わっており、ボランティアの交流・育成の場にもなっています。特に、学生ボランティアには協働について勉強しながら活動してもらっています。そうすることで、受け身のボランティアから、行政などに提案できるボランティアになるからです。ここで学んだ学生が就職した後、またボランティアとして戻ってきてくれました。とてもうれしいことです。」

こうした協働による社会貢献活動は、地域社会を支える新しい力となっています。

七月十日には、鹿沼市内で「協働フォーラム」を開催。NPO、企業、行政、それぞれの立場の方が参加し、講演やパネルディスカッション、交流会を行いました。参加者からは「自分のボランティア活動と全く違った分野の方と交流できた。こういう出会いの場がある」と良い声が上がった。このほか、「ぼ・ぼ・ら」では、NPO法人設立説明会やミニ交流会「ぼ・ぼ・ら茶論」なども定期的に開催しています。ぜひ、「ぼ・ぼ・ら」に足を運んでみてください。



フォーラムには多くの参加者があり、パネルディスカッションでは現場の生の声も聞くことができました

「ぼ・ぼ・ら」に遊びにおいでよ!

ボランティア・NPOなど社会貢献活動に関する情報がたくさんあります

開設時間 午前9時30分～午後9時
日曜・祝日は午後5時まで

休館日 毎週月曜、年末年始

住所 宇都宮市昭和2-2-7 **TEL** 028-623-3455

ホームページ <http://www.tochigi-vnpo.net/>

おすすめの協働のまちづくり

栃木県内では、多くのNPOやボランティア団体がさまざまな分野で活動しており、個性と活力あるまちづくりに欠かせない存在となっています。

県では、とちぎボランティアNPOセンターをオープンし、融資制度を開始するなど、活動環境を整備するとともに、NPO等との協働により、豊かで人間味のあるまちづくりをすすめています。

とちぎ **県民だより**

8 2004 月号

編集・発行 栃木県広報課
平成16年8月15日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 (7月1日現在)

2,013,889人(前月比+642人、前年同月比+3,682人)
◎男999,530人 ◎女1,014,359人 ◎世帯数705,511世帯
栃木県毎月人口推計速報

NPOと協働でより良いまちづくりを

皆さんは「協働」という言葉を存じですか? 協働とは、NPO、企業、行政などさまざまな立場にある人たちが、共通の目的を達成するために協力していくことです。県では、NPO等との協働を積極的にすすめていきたいと考えています。

栃木県NPO活動基盤サポート資金 融資制度が始まりました

NPO法人が安定して活動を行うことができる基盤づくりを応援します。お気軽にご相談を!

対象 栃木県知事の認証を受けたNPO法人で、法人成立後1年を経過していることなど、一定の条件があります

融資内容	運転資金	事業拡大資金
限度額	300万円	2,000万円
金利	1.7%	1.9%
返済期間	5年以内	7年以内

担保・保証人 取扱金融機関と相談の上決定します

県文化振興課NPO担当 ☎028-623-3422

一口メモ

NPOってなに?
Non-Profit Organizationの略で、営利を目的とせず社会的な課題に対して自発的・継続的に社会貢献活動を行う民間組織のこと。また、平成10年に施行された特定非営利活動促進法により法人格を取得した団体をNPO法人と呼んでいます。

目次

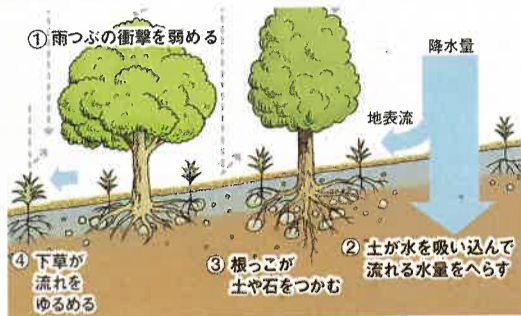
- 2面特集 保安林・自然公園大会
とちぎの自然を守ろう
- 3面ミニ特集 架空請求にご注意を
ふるさと散歩
- 今年も行く公開アンケート
県の試験研究機関編
- 4面情報 栃木県からのお知らせ
文化情報・募集・催し ほか
花歳時記(ミソハギ)

とちぎの森林を守っていきこう 私たちの暮らしを守る保安林

県では、私たちの暮らしに重要な役割を果たしている森林を保安林に指定して、その管理や整備をすすめています。

森林の働き

森林は木材を生産するだけでなく、さまざまな働きを持っています。例えば、森林にある肥沃な落ち葉と土。これらは山に降った雨をたっぷり吸収してゆっくり放出するので、洪水や濁水を防ぐ働きがあります。その雨は、森林の土壌でろ過され、良質でおいしい水をつくりだします。また、森林の緑は空気中の二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の防止に役立ちます。そして、何よりも森林は、美しい景観や川のせせらぎ、きのこなどの山の恵みをもた



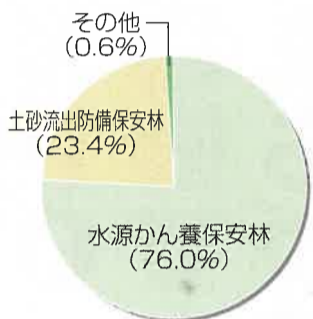
〈土砂流出を防ぐ森林の働き〉 枝や葉が雨の衝撃を弱め、土が雨水を吸い込んで、地表を流れる水の量を減らすなど、土砂の流出を防ぎます

らし、私たちに快適な環境を与えてくれます。



水源かん養保安林(黒磯市百村)。森林の土がスポンジのように雨を吸収して蓄え、ゆっくりと川に流すことで、洪水や濁水を防ぎます

県内の保安林の種類別割合



保安林は、健全な状態であれば、その機能を発揮することができません。県では保安林の管理や整備をすすめるため、さまざまな取り組みを行っています。

- 台風などにより発生した山崩れや、荒廃した溪流の復旧工事を積極的にを行っています
- 保安林の機能を高めるため、間伐などの森林整備を積極的

保安林の管理や整備をすすめます

県ではこれらの大切な森林の働きを守るため、保安林の指定をすすめています。栃木県で最初の保安林は、今から百年以上も前の明治三十二年に足尾町で指定されたものです。それ以降も、山に降った雨を蓄えて、ダムのような働きをもつ「水源かん養保安林」を中心として、山地災害を防止する「土砂流出防備保安林」などを指定しています。現在では、森林の役割ごとに九種類、約十七万一千ヘクタールが保安林になっています。これらの保安林はその機能を効果的に発揮して、私たちの暮らしを守っています。

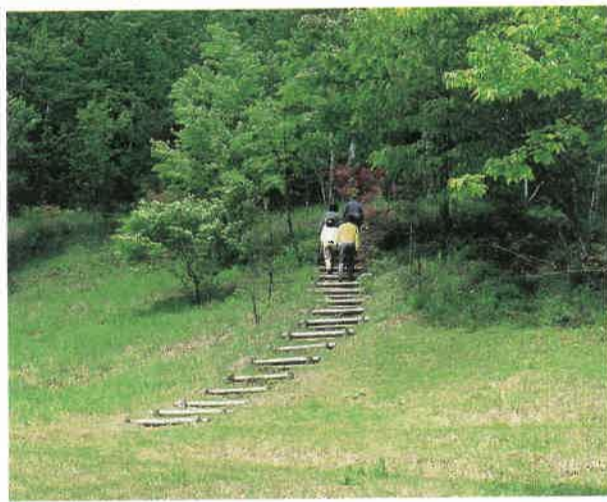


森林保全巡視員
半田 國夫さん(宇都宮市在住)
「山を歩いて、山を守る」

県からの依頼で、山の巡視を始めてから18年。年に6回、宇都宮市石那田周辺の巡視をしています。巡視中は、風雪や雨による浸食の状況を確認し、ごみの投げ捨てや不法投棄、山火事の防止などに対して注意を呼びかけます。投げ捨てられたごみを見つくと、本当に怒りがこみあげてきますね。自分でも保安林を持っていて、間伐や枝打ちなどを行っています。山の手入れは手間ひまがかかり本当に大変ですが、手を加えないと荒れてしまうので一所懸命やっています。私たちは暮らしの中で山からの恵みを受け、四季それぞれの魅力的な自然を楽しむことができます。このとちぎの豊かな自然を子や孫の世代に残すため、山を持つ人には手入れを続けてほしいと願っています。

● 災害の調査のほか、ごみの不法投棄や山火事などを防止するため、地域に精通した方に森林を巡視していただき、保全に役立てています

● 保健保安林では、県民の皆さんが森林浴やレクリエーション活動の場として利用しやすいように、森林整備と併せた歩道などの整備をしています



保健保安林(栗山村湯西川)。空気を浄化するなど、生活環境を守ります

保安林の指定をすすめます

県内には、水源地域や山地災害の恐れのある場所など、保安林に指定する必要がある場所がまだまだたくさんあります。森林を所有する皆さんのご協力をいただきながら、保安林の指定をすすめて、さらにその適正な管理や整備に努めていきたいと考えています。

◇問合せ 県森林土木課
TEL 028162313288

第四十六回自然公園大会を開催しました

とちぎの自然を全国にアピール

七月二十八日・二十九日の二日間、塩原町箱の森プレイパークで、環境省と県などが主催し、第四十六回自然公園大会を開催しました。この大会は、豊かな自然とのふれあいを通じ、自然環境保全への関心を高めてもらうことを目的として、毎年全国各地で開催されています。記念すべき第一回大会は、昭和三十四年に日光市光徳地区で行われ、栃木県での開催は今回で二回目。自然豊かな栃木県を全国にアピールしました。

とどけよう豊かな自然未来まで

大会一日目は、常陸宮同妃両殿下をお迎えし、自然公園関係の功労者表彰や緑の少年団による自然環境保全活動の事例発表などを行いました。



箱の森プレイパークの豊かな自然の中で式典が催されました



森のおんがくげき/みんなでリズムを合わせてカシの木をたたくようす。「手のひらを太陽に」のコーラスなど楽しい音楽が、夜の森に響きわたりました



葉の形を観察するようす。樹木に詳しい「子ども樹木博士」が誕生しました



ヨシ沼(塩原町)で日本一小さいハッチョウトンボを探しました

◇問合せ 県自然環境課
TEL 028162313207

大会二日目には、野外活動隊の子どもたちや家族連れなど約千二百名が参加し、塩原町周辺の魅力あふれる二十コースの散策を楽しみました。大会テーマは「とどけよう豊かな自然 未来まで」。今後も県では、栃木の自然環境を守っていききたいと考えています。

ふるさと散歩
今年も行く公開デー
県の試験研究機関編

農業試験場公開デー

～“食と農の郷とちぎ”の技術革新～ 8/28 (土)

宇都宮市瓦谷町1080
☎028-665-1241

- 新品種や環境に優しい技術など、農業試験研究の最前線をご案内します
- アクセス
宇都宮ICから車で約10分
8/28(土)
午前9時～午後3時
- 研究成果の展示と試験の紹介
- 試験研究施設の公開
- 農業機械や資材の展示
- 新鮮野菜やハトムギ茶、農業関連書籍の展示即売
- もちつき大会、なしの皮むき大会、かびょうむき大会、クイズラリー、フラワーアレンジメント教室、まゆクラフト教室、DNA抽出体験



昨年のようなす/なしの皮むき大会では174cmの記録が飛び出しました

林業センター公開デー

～とちぎの豊かな“森林”づくりのために～ 8/29 (日)

宇都宮市下小池町280
☎028-669-2211

- 木材や緑化、きのこなど森林・林業についてのさまざまな研究をしています。今年4月には、木材の材質や加工に関する研究施設が新設されました
- アクセス
宇都宮ICから車で約15分
8/29(日) 午前10時～午後3時
- 試験研究パネル紹介(森林・きのこ・野生動物のあれこれ)
- 試験研究施設などの公開
- キットや端材を利用した木工教室(参加無料)
- 森と木に親しむクイズ(しいたけのほだ木などの景品あり)
- 緑化苗木プレゼント(午前11時～午後1時～2時～)
- きのこと試食(午前11時30分～午後0時30分)
- 木材強度試験のデモンストレーション



昨年のようなす/日光杉並木」のスギの年輪が語る栃木の歴史を係員が説明しました

水産試験場公開デー

～とちぎの魚、ささえる技術！～ 8/29 (日)

湯津上村佐良土2599
☎0287-98-2888

- なかがわ水遊園の隣にあり、那珂川の水を利用して生態系の保全のための研究や、地域特産魚を生かした増殖産の研究などを行っています
- アクセス
西那須野塩原ICから車で約45分
8/29(日) 午前10時～午後3時
- 試験研究成果展示(パネル展示や説明、お魚なんでも相談)
- 試験研究施設の公開
- 公開講座「小川の魚を調べる」～どんな魚がすんでいるのかな?
- 場内ウオーラリー「お魚クイズ」～目指せ!全問正解
- アユの塩焼き試食(先着1,000名)、アユめしの試食(先着300名)～那珂川のおいしいアユをご賞味あれ
- 栃木県に関するクイズ「とちぎQ&A」



昨年のようなす/公開講座「小川の魚を調べる」では、自分で魚を採って種類などを調べました

核兵器を廃絶し世界平和を実現しよう

1945年(昭和20年)、広島と長崎に投下された原子爆弾は、瞬時に10万人以上の生命を奪いました。この2つの原子爆弾の放射線被曝による死者は、今も途絶えることはありません。このように世界唯一の被爆国として、核兵器の廃絶を国民的悲願としているわが国は、非核三原則を堅持するとともに、全世界に平和と軍縮を訴え続けています。本県では昭和57年3月、第180回県議会定例会において「核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に関する意見書」を全議員一致で採決し、政府に対してその実現と世論の喚起に努めるよう要望しています。8月15日は終戦記念日です。この機会に核の廃絶と世界の恒久的平和の実現への認識をさらに深めていきましょう。

突然、はがきや電話・メールなどで、利用した覚えのない携帯電話・パソコンでの有料情報利用料や借りた覚えのない借金返済の請求がきたら…。こうした架空請求に関する相談が、昨年度から県消費生活センターに数多く寄せられ、平成十五年年度では、全相談件数一二、七六六件のうち、六、六二九件を占めています。これらの相談の中には、携帯電話・パソコンを所有していない方やすでに亡くなっていない方までも含まれています。悪質業者は、何らかの方法で住所や名前などの個人情報記載された名簿等を入手し、根拠のない請求を巧妙な手段で一方的に送ったり電話したりしているものと思われま

「最終通達(知)書」、「最終督促通知」と称して、公的な機関に似た名称や裁判所、法律事務所、弁護士の名を語り、

急増している架空請求にご注意を

「回収員が自宅へ」、「強制執行」、「勤務先を調査、給料差押え」、「ブラックリスト(信用情報機関)に登録」など不安をあおるような言葉で請求してきます。このような脅し文句も冷静に考えれば、まったくの虚偽に過ぎません。みなさんのところへ架空請求がきた場合には、まず、慌てないで次のように対応してください。

架空請求はがきの例

最終通達書

この度、貴方様の利用した通信料金の未納金の債権譲渡を受けました。このまま放置しますと裁判所の許可の下、財産・給与差押え手続きを取らせていただきます。

〇〇最終通告期限 平成16年〇月〇日

管理番号 △△△

担当者直通
090-〇〇〇〇-△△△△
090-〇〇〇〇-△△△△

(株)〇〇債権回収機構

- 1 利用した覚えのない請求には無視して相手に連絡・返信をしない(連絡・返信することにより個人情報に関する恐れがあります)
- 2 根拠がはっきりしない請求には支払いをしない(一度支払うと次々と請求がくるようになります。また、支払ってしまった金額を取り戻すことは非常に困難となります)
- 3 脅し文句等で直接電話がかかってきてもひるまず、業者の話に信じない
- 4 執拗な請求には携帯電話の番号やメールアドレスを変更するか警察に届ける
- 5 対応に不安なことや困ったことがある場合には、最寄りの市消費生活センターまたは県消費生活センターに相談する



架空請求に関する
県消費生活センター相談窓口

相談時間
土曜、日曜、祝日を除く
午前9時～午後4時30分

専用電話
028-665-7744

最寄りの各市消費生活センターにおいても相談窓口があります

七月九日、夏や秋に収穫されるいちごの新品種「栃木18号」を発表しました。これは、平成八年から県農業試験場で研究されてきたもので、準高冷地での栽培に適しています。従来の夏秋どりいちごに比べ、形、日持ちなどすべての面で優れており、今後、ケーク用など主に業務用として出荷していきます。

栗山村や塩原町などの準高冷地(標高500～600m)での栽培に適しています

「心の教育」の学習教材ができました

県では、子どもたちに思いやりの心や感動する心など、豊かな心を育むための学習教材を開発しています。このたび、小学校低学年向け教材ができました。道徳の時間や読み聞かせの場などで活用されています。今後、小学校中高学年や中学生向け教材も開発していく予定です。

子どもたちの自立心や思いやりを育むような作品集です。ご希望の方は栃木県連合教育会(☎028-625-8934)へ

県政トピックス

1 夏秋どりいちごの新品種を発表

2 「心の教育」の学習教材ができました

3 まちからむらから館で地元食材を楽しもう

まちからむらから館

(左) 1階/とちぎの新鮮野菜販売(午前9時～午後1時) ※営業日 月～金曜日

(右) 2階/そば居酒屋 さすな(午後5時～9時)

地域特産物の販売や地元食材の料理を提供する「まちからむらから館」が、宇都宮市の二荒山神社前にオープンしました。

ここは栃木県商工会青年部連合会が運営しており、特に二階の居酒屋は、さまざまな業種の後継者が店舗経営を学ぶ場にもなっています。来年三月までの営業です。ぜひお立ち寄りください。

文化情報

子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567
☎028-659-5555 ●月・第4木曜

●夏の企画展「すざいぞ！わたしの体ー見る、聞く、感じるヒトの不思議ー」8/31(火)まで
●もっとも身近である自分、ヒトの不思議にせまります



●あそぼう工房夏休み企画「メタル☆ファクトリー」8/31(火)まで
●金属部品や工具を使った「つくる・あそぶ」プログラムであそぼう

山崎博「櫻」1989年

文化情報

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7
☎028-621-3566 ●月曜日

●企画展「脊椎動物の進化ー5億年の旅ー」9/12(日)まで
●本物の恐竜の化石やいろいろな動物の骨、毛皮に触ることができます
●テーマ展「瀟湘八景と名勝絵」9/12(日)まで

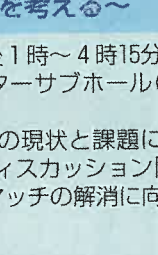
●講座①土器の拓本をとってみよう 8/28(土)午後1時30分～
②地震についてのあれこれ 8/29(日)午後1時30分～
※いずれも電話で予約を

文化情報

県立博物館

宇都宮市睦町2-2
☎028-634-1312 ●月曜日

●NHK公開録音「FMシンフォニーコンサート」9月12日(日)午後4時30分開演
●申込み 往復はがき(1枚2名)で、〒320-8502 NHK宇都宮放送局「FMシンフォニーコンサート」係まで
●申込締切 8/30(月)必着
●ラテンダンス・カーニバル 11月21日(日)午後4時開演
●8/20(金)発売開始 ●タンゴ・サンバ・サルサ・フラメンコが一堂に会するステージ
●ピアノでトーク 羽田健太郎コンサート 11/23(火・祝)午後3時開演 ●好評発売中



文化情報

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8
☎028-643-1010

●9月15日(水)午後1時～4時15分
●県総合文化センターサブホール(宇都宮市)
●講演「若年者雇用の現状と課題について」とパネルディスカッション「若者と企業のミスマッチの解消に向けて」
●入場無料
●申込み 前日までに電話などで
●県労政課 ☎028-623-3224

文化情報

とちぎデザイン大賞の募集

●優れたデザインの商品を「Tマーク商品」として選定しています。また、「とちぎ」の観光オリジナルグッズの商品デザインも募集します
●対象 [製品部門] 県内に事業所のある中小企業または個人 [企画デザイン部門] 県内に在住、通勤・通学している個人・グループ ●応募締切 8月31日(火) ●詳細は問合せを 県工業振興課 ☎028-623-3249

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ就職支援センター・ヤングフォーラム

～今、若者と仕事を考える～
●9月15日(水)午後1時～4時15分
●県総合文化センターサブホール(宇都宮市)
●講演「若年者雇用の現状と課題について」とパネルディスカッション「若者と企業のミスマッチの解消に向けて」
●入場無料
●申込み 前日までに電話などで
●県労政課 ☎028-623-3224

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775

文化情報

とちぎ花センターの催し

●それ行け食虫植物展
●期間 9/26(日)まで
●料金 大人420円 子ども210円
●同センター ☎0282-55-5775